

みんなのために、誰かのために

お天道様はみている

翌 檜 新 聞



志 寛 録

第3号
2020.2.7
第74代
伊敷中生徒会



FACE

寺園伸二校長先生

二年生ソシオドラマ

12月3日(火)、二年生代議員によるソシオドラマ「お天道様はみている」がありました。みなさんは、スリッパの並べ方や自習中の態度など「ばれなければいい」という弱い自分に負けてはいませんか。お天道様とは太陽のこと。ソシオドラマの中の「誰も見ていなくても、自分が見ている。お天道様は見ている」という言葉は印象深かったので



正直に生きることの大切さを訴える二年生代議員

はないでしょうか。

ソシオドラマに出演した二年五組の前田純祐くんは、「みんなに分かりやすいように演じることができた。これを機に自分に向そわつかず、自分自身に正直になっ

て行動してほしい。」と話していました。

ソシオドラマを指導した上妻先生は、「お天道様は自分の心の中にあるもの。人生の中には、失敗したり、間違ったりしてしまうこともあるけど、自分自身を裏



チャームをハンドベルで演奏する二年生

切らない、自分に恥じない生き方をしていきたいということを伝えられたら。」と話していました。

誰も見ていなくてもみんなのために、誰かのために行動できる伊敷中学生を目指していきましょう。

(東遼太郎)

ボランティアの精神を 赤い羽根募金

12月8日(日)、天文館通で赤い羽根共同募金活動がありました。

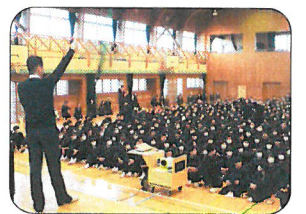
天文館通は、人通りも多く、たくさんの方が募金に協力してくださいました。たくさんの方の中で募金の呼び掛けをする経験が初めての人もおり、自分の呼び

今回のFACEは、我が校長、寺園伸二校長先生です。校長先生は今年が定年となり、三月に退職されます。そこで、今回はこの伊敷中学校に対する思いや中学校時代についてお話を伺いました。

Q1 伊敷中に来て驚いたこと

A1 45年前にも三大伝統があった。(その頃掃き目はなかった)その三大伝統が現在も残っていたことが衝撃だった。

Q2 好きな行事



全力じゃんけんをする校長先生

A2 全て!どれも素晴らしいし、感動して泣いてしまふ。

Q3 中学時代の思い出

A3 生涯付き合っていた友人と出会えたこと。

Q4 伊敷中生へ一言

A4 みんな明るくて、元気で、校長先生に優しく接してくれて、とても感謝しています。これからも明るく元気に頑張ってください!



校長先生はいつも笑顔で私たちを迎えてくださいました。校長先生の伊敷中への思いをこれからも忘れず、これからもよりよい伊敷中にしていきましょう。そして、生徒全員が伊敷中のことが大好きになれるよう「学校のために」という意識で頑張りましょう。

(中島知希)



募金活動をする生徒会役員

生徒会の窓

三学期も三分の一が過ぎ、もう二月です。二年生は明日、立志式を迎えます。立志式とは、元服にちなんで数え年の15歳を祝う行事のことだとぞうです。元服とは成人になったことを示す儀式のことです。平安中期ごろに完成した儀式で様々な人に広がっていき、大人の自覚を促す日本の教育文化として定着しました。

伊敷中学校の第一回立志式は昭和40年2月4日に行われました。当時の校長先生の「中学時代に最も大切なことは立志と自覚を一日も早くもたせることだ」という信念に基づいて、県内で初めて実施されたと言われています。

立志とは「志」を立てること。「志」と「目標」同じようで、違うと言われます。「目標」は自分のものであるのに対して、「志」は世のため人のために対する決意であるということです。世のため人のために自分はどうなりたいのか、どんな大人になれるか、どんな大人になつていくかという決意を立てるのが立志ということです。

日常生活の中でも自分の思いを優先するだけでなく、周りの人のことを考え、自分がどう動くべきかを考える。それが大人に近づくといいことだと思います。

(牟禮こころ)

三年生への感謝を胸に

入試激励会

12月14日(土)、入試激励会がありました。今まで部活動や班活動、学習面などいろいろなことでお世話になった三年生に一年生と二年生が感謝の気持ちを胸

に、入試へ向けて激励しました。この会のために、二年生は学年放送やふれあいタイムを利用して群読の練習を行いました。一年一組の峯苦泰志くんは「入試は三年生にとって大きな舞台なので、先輩たちを激励

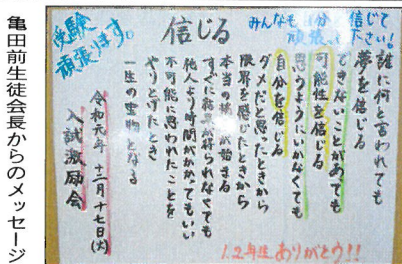


一、二年生が作成したメッセージボード(右)、群読の様子(左)

できるような会にしたいと思いつながら練習をした。」と話していました。また、一、二年生が各学年で作成した激励のメッセージが綴られたメッセージボードも三年生へ渡されました。

会の中、校長先生は「受験は団体戦」とお話しされました。受験勉強は大変だと思いますが、周りにはたくさん仲間や応援している人がたくさんいます。安

心してがんばってきてください。また、入試激励会終了後、亀田周杜前生徒会長より、一、二年生へのメッセージをもらいました。そこには「みんなも自分を信じて頑張ってください。受験頑張ります。」と書かれています。一、二年生の思いが先輩たちへ伝わったことでしょう。このメッセージは生徒会室前の掲示板に掲示



していただきますので、ぜひ見に来てください。一、二年生は、先輩方がしっかりと受験に集中できるように、生徒会活動に積極的に取り組み、落ち着いた学校の雰囲気を作っています。(堀切勇希)

亀田前生徒会長からのメッセージ

三年生の私立高校入試が終わりました。次は公立高校入試に向けて必死に勉強をしている三年生。部活動の先輩や掃除場所の先輩に「こうしておけばよかった...」という話を聞く人も多いのではないのでしょうか。改めて、受験勉強を体験した三年生の先輩たちから、後輩たちへのアドバイスを聞いてみました。

〇一年生の間に長い学習時間に慣れておくこと！
そうすることで、受験勉強もスムーズに取り組むことができます。

〇体調管理をしっかりすることと生活のリズムを崩さないようにすること！
当たり前のことだが、なかなかできていない人も多いのでは。体調が万全に整ってこそ、自分の力が発揮できます。

〇分からないことは先生や先輩、友達に聞くこと！

教えて！先輩！！

～普段の学校生活から意識しておくこと～



昼休みの学習会の様子

分からないことを恥ずかしいと思う人もいるかもしれませんが、でも、分からないままではいる方が恥ずかしいです。勇気をもって聞きましょう。今のうちに知識の確認を定期的に行うことが大事です。

三年生の先輩からのアドバイス、みなさんはどう感じましたか。「備えあれば憂いなし」と言われるように、何事も普段から準備しておくことが大事です。一、二年生のみなさんも必ず受験を迎えることになりまます。アドバイスを意識して今のうちに受験勉強に備えた学習をしていきましょう。(町田亜未)

ボランティア精神

資源回収

12月14日(土)、資源回収が行われました。先生方

保護者の方々、地域の方々の協力のおかげで大量の資源ごみが集まりました。資源回収に参加してくださった保護者の方は「生徒や保護者とのコミュニケーションの時間がとれて良かった。」と話していました。

た。一年生は戸惑いながらも先輩たちの動きを見ながら頑張ってくれていた。しかし、回収車の時間が分からず待ち時間が長いと感じた。」と話していました。

めたくさんのごみのその後を知っていますか。例えば、古紙は専用車で運ばれて規格に合わせた選別作業が行われます。そして、各メーカーに送られてノートや卵パックなどにリ

編集後記

今回の翌檜新聞は学校行事だけでなく、インタビュー記事や地域についての記事などを載せました。家庭でも話題にしてみてください。まだまだ感染症が流行中です。体調管理や学級での喚起をしっかりと行い、感染症予防に努めましょう。また、記事にもあったように三年生が受験に集中できるように、一、二年生は学校のために行動していきましょう。(宮ノ前那海)

新聞紙を運ぶ伊敷中



(宮ノ前那海)